

令和5年度事業計画書

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団

1 事業活動方針

設立趣意書及び定款の目的に基づき、電気・電子・通信技術を学び、「モノづくり」を行う上で、将来不足が予想されるアナログ技術の修得に意欲ある大学生、大学院生に対して研究、勉学が出来易い環境を整えるために奨学金及び助成金の給付を行う。また、次世代を担う若者が電気・電子・通信技術等の科学技術に興味を持ち、楽しく学ぶための助成を行う。

2 事業内容

(1) 奨学金の給付事業（公1）

① 令和5年度（第20期）奨学生に対して四半期ごとに奨学金の給付を行うとともに、奨学金受領書及び近況報告の提出を求め、奨学金が事業活動方針にのっとり有効に使用されるように取り組んで行く。

② 第20期奨学生を対象に、「モノづくり」を体験してもらうために「モノづくり」現場の見学会（交流懇談会）を開催する。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される場合は中止する。

③ 第1期生から第19期生に暑中見舞い、年賀状を送り、「きずな」を保つ。

(2) 渡航助成事業（公2）

国際会議等において研究発表を行う学生に対して、渡航費等の一部を助成する。

(3) 振興助成事業（公3）

学校等で行う電子通信工学の振興に資する行事（イベント等）に対して、事業費等の一部を助成する。

(4) 調査・研究助成事業（公4）

電子通信工学関係を学んでいる学生であって、独創的で新規性があり、かつ、将来の発展性がある調査・研究を行う学生に対して、調査・研究費用の一部を助成する。

(5) 令和6年度(第21期)奨学生の募集並びに令和6年度調査・研究助成金交付対象者の募集予定

- ① 令和6年度(第21期)奨学生の募集は60名程度を予定する。
- ② 令和6年度調査・研究助成金交付対象者の募集は5名程度を予定する。
- ③ 関係大学等への周知、広報のために募集要項を郵送するとともに、学校訪問を実施する。

(6) その他

- ① 周知・広報活動をホームページに掲載する。
- ② 財団の組織、財政及び事業活動等の情報公開をホームページに掲載する。